

11-G ヒサカキ(姫櫛)の巨木 ツバキ科ヒサカキ属 Eurya japonica

■ヒサカキの巨木評価基準

- A 株周おおむね 4m 以上、もしくは、おおむね幹周 2m 以上の単幹ヒサカキの巨木。
- B 株周おおむね 2～4m、もしくは、おおむね 0.5～2m の単幹ヒサカキの巨木。
- C B 評価以下のヒサカキの巨木。

■主なヒサカキの巨木

2015 年現在

評価 AA 国指定特別天然記念物級 A 国指定天然記念物級 B 都道府県指定天然記念物級 C 市町村指定天然記念物級

評価	巨木名称	幹 周	樹高	所 在 地	天然記念物 指定
A	樫山のヒサカキ 写真 H-001	株周 M4.3m(0.5m 2008)	7m	茨城県銚田市樫山	市
A	曹源寺のヒサカキ(北幹) 写真 H-002	株周 M2.35m(0.3m 2014)	4.6m	山形県鶴岡市鼠ヶ関字横道	県
A	〃 (南幹) 写真 H-003	M2.2m(0.3m 2014)	5.3m	〃	県
A	農業技術センターのヒサカキ 写真 H-004	株周 M4.22m(0.2m 2012)	5m	神奈川県平塚市上吉沢 1617	なし
B	論田のヒサカキ 写真 H-005	株周 M3.8m(0.3m 2009)	4m	富山県氷見市論田	なし
B	伊勢神社のヒサカキ 写真 H-006	株周 2.4m(0.2m 2007)	4m	石川県輪島市石休場町	なし
B	渡辺家のヒサカキ 写真 H-007	不明	不明	茨城県稲敷郡阿見町大形	なし



写真 H-001

日本一のヒサカキ

もみやま

樫山のヒサカキ

地上 0.5m での株周が M4.3m もあり、成長の遅いヒサカキでは希有な存在である。地上 0.7m で 3 分岐する樹形で、分岐幹はすぐに再び分岐し、全体として 8 分岐に見える。中心に空洞がある事から、主幹はすでに枯れたようだ。幹は斜上し、枝先は地面に垂れるように広がる。周囲は畑地で、庚申塔のある塚の上に立つことから、標木として守られてきたようだ。ちなみに巨木 DB 幹周 6.3m は、分岐幹の合計周。(下写真・全景)





▲写真 H-002

曹源寺のヒサカキ(北幹)

裏庭に2株ある内の大きい方で、根元で分岐しているが、1.5mで融合する。古木の風格が漂う希有なヒサカキである。



▲写真 H-003

曹源寺のヒサカキ(南幹)

北株より一回り小さいが、こちらは珍しい単幹樹である。しかも、主幹は波打ち、こちらも古木の風格が漂う稀に見るヒサカキである。

▼写真 H-004

農業技術センターのヒサカキ

広い構内のCブロックの角にあり、根元で7分岐する。枝張りは東西14m、南北10mの壮大なヒサカキである。





▲写真 H-005

ろんでん
論田のヒサカキ

論田集落のはずれ、旧荒屋家墓所にあるもので、根元で数分岐している。



▲写真 H-006

いせ
伊勢神社のヒサカキ

本殿の左手際にあり、根元で4ぶんぎしている。それぞれの幹周は0.76m、0.84m、0.86m、1.08m。



◀写真 H-007

わたなべけ
渡辺家のヒサカキ

正確な情報はないが、画像で見る限り、かなりな巨木であろう。(写真・Web 画像)

11-H モッコク(木斛)の巨木 ツバキ科モッコク属 Ternstroemia gymnanthera

■モッコクの巨木評価基準

- A 幹周おおむね4m以上の単幹樹、同等評価のモッコクの巨木。
- B 幹周おおむね2~4mの単幹樹、同等評価のモッコクの巨木。
- C B評価以下のモッコクの巨木。

■主なモッコクの巨木

2015 年現在

評価 AA 国指定特別天然記念物級 A 国指定天然記念物級 B 都道府県指定天然記念物級 C 市町村指定天然記念物級

評価	巨木名称	幹 周	樹高	所 在 地	天然記念物 指定
B	中山寺のモッコク 写真 M-001	M3.84m(1.3m 2012)	15m	三重県四日市市南小松町	なし
B	妙行寺のモッコク 写真 M-002	3.4m	19.7m	埼玉県さいたま市中央区鈴谷 4-15-2	県
B	川棚三恵寺のモッコク 写真 M-003	3.1m	15m	山口県下関市豊浦町大字川棚	県
B	清水大師堂のモッコク 写真 M-004	2.85m	18m	兵庫県川辺郡猪名川町清水	県
B	本覚寺のモッコク 写真 M-005	2.7m	11m	山口県宇部市西岐波字寺里 5579	市

評価	巨木名称	幹 周	樹高	所 在 地	天然記念物 指定
B	佐倉城址の夫婦モッコク 写真 M-006	2.6m	11.6m	千葉県佐倉市内町 佐倉城址公園	県
B	馬蹄寺のモッコク 写真 M-007	2.5m	8m	埼玉県上尾市平方 2088	県
B	長徳寺のモッコク 写真 M-008	M2.4m(1.2m)	9.5m	香川県丸亀市本島町笠島 484	市
B	真光寺のモッコク 写真 M-009	2.2m	15m	岡山県真庭市久世 1453	市
B	山崎八幡神社のモッコク 写真 M-010	2.0m	13m	兵庫県宍粟郡山崎町	県
C	海宝寺のモッコク 写真 M-011	1.45m	4.5m	京都府京都市伏見区桃山町正宗	なし



◀写真 M-001 日本一のモッコク

ちゅうさんじ

中山寺のモッコク

中山寺と書き「ちゅうさんじ」と読むこの寺は、真宗高田派の寺院で、モッコクの巨木は本堂裏手、建物に接するように立つ。中山寺再建当時から存在したと記録にある事から、樹齢 300 年以上になる。

モッコクはツバキ科の樹木で、海岸に近い山地にあり、千葉県以西の太平洋側に分布する。巨木は珍しく、ほとんど幹周 2m 程で、3m を越えるものは珍しい。

中山寺のモッコクは、2012 年の計測で幹周 M3.84m。現在知られているモッコクでは日本一である。地上 2m で大小 4 分岐し、幹周 2m 程の分岐幹が 2 本、1.5m 程が 1 本、0.5m 程が 2 本立上がる。根元は広がり、皺が多く、堂々とした古木の風格がある見事なモッコクである。



◀写真 M-002

みょうぎょうじ

妙行寺のモッコク

(写真・谷田元彦)



◀写真 M-003

かわたなさんねじ

川棚三恵寺のモッコク

(写真・Web 画像)

写真 M-004▶

しみずだいしどう

清水大師堂のモッコク

(写真・Web 画像)





▲写真 M-005
ほんがくじ
本覚寺のモッコク
(写真・Web 画像)



▲写真 M-006
さくらじょうし めおと
佐倉城址の夫婦モッコク
(写真・Web 画像)



▲写真 M-008
ちやうとくじ
長徳寺のモッコク
(写真・Web 画像)



▲写真 M-007
ばていじ
馬蹄寺のモッコク
(写真・Web 画像)



▲写真 M-009
しんこうじ
真光寺のモッコク
(写真・Web 画像)



▲写真 M-010
やまざき
山崎八幡神社のモッコク
(写真・Web 画像)



▲写真 M-011
かいほうじ
海宝寺のモッコク
伊達政宗手植えのモッコクと伝えられる。
(写真・Web 画像)